

【コロナ禍の取組み】

アフターコロナを見据えた準備期間

- ・観光キャンペーンによる切れ目ない需要喚起
- ・受入環境整備や観光コンテンツ開発など、観光事業者等への支援
- ・マイクロツーリズムの推進
- ・デジタルマーケティングを活かした情報発信



【今後の観光地域づくり施策のポイント】

観光消費額の増加

第3次観光振興戦略プラン（R4.3策定）における重要目標（KGI）
現状（R元）1,483億円 → 目標（R8）1,980億円

- ウリ、ヤド、ヒト、コネの各分野で施策を展開、高付加価値旅行者の誘客を強化
- ・「ウリ」黒部宇奈月キャニオンルート一般開放・旅行商品化（R6）に向けた準備を加速
- ・「ヤド」ラグジュアリーホテル誘致、既存宿泊施設の上質化により受入環境を整備
- ・「ヒト」富裕層のニーズを満たすサービスが提供できる担い手の育成
- ・「コネ」新たな市場に向けたマーケティングやプロモーション。欧州からの誘客強化

R6年 黒部宇奈月キャニオンルート一般開放、北陸新幹線敦賀延伸、北陸DCにむけ高付加価値化を推進

ウリ 黒部宇奈月キャニオンルートの一 般開放に向けた準備強化

【新】黒部宇奈月キャニオンルートを活用した立山・黒部
魅力再発見事業（6,800万円）

インバウンドを対象とした誘客を見据えた通訳ガイド育成
インバウンド受入れに向けたモニターツアー実施 など

【拡】黒部宇奈月キャニオンルートを含む旅行商品造成事業（3,720万円）
ガイドの養成、メディア関係者等を対象とした現地視察等、商品化

【新】黒部宇奈月キャニオンルート等プロモーション強化事業（2,500万円）
開業イベントの実施や国内外の各種媒体を活用したPR



観光庁 R5事業を活用し観光需要の回復や地域活性化、高付加価値化を推進

観光再始動事業

新規性が高い、特別な体験コンテンツ・イベント等を通じて、
観光需要の回復や地域活性化を図る（上限8,000万）

<公募採択（県内関係）>

黒部宇奈月キャニオンルート、勝興寺、善徳寺 等をテーマと
した取り組みが採択

地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業

宿泊施設の高付加価値化改修、観光施設の改修、廃屋撤去
などの取組みを県内でも実施

【R3~4 事業実施】黒部市（宇奈月温泉・黒部峡谷）

- ・観光庁事業で宿泊施設の上質化、観光施設の改修、廃屋撤去を実施。
- ・県も一定の要件を満たす施設の上質化、廃屋撤去について支援



ヤド 高付加価値旅行者に対応するラグジュアリーホテルを誘致

【新】高付加価値旅行者向け宿泊施設誘致促進事業（2,200万円）

高付加価値旅行者向け宿泊施設の誘致検討委員会を設置し、立地に向けた方策を
検討するとともに誘致活動を実施 ※R5.7.7、第1回検討会開催

既存宿泊施設の上質化支援 ○ホテル旅館上質化等促進補助金（5,000万円）
既存のホテル・旅館の客室改修等を支援

ヒト 女性による「暮らすような旅」 観光サービス事業化 など人材育成

○女性による「暮らすような旅」観光サービス事業化
プロジェクト（500万円）

「暮らすように旅する」新たな旅行商品の造成に向けた取組みを強化

○とやま観光塾（2,470万円）

観光ガイドや地域づくりをリードする人材を育成

コネ 海外への観光プロモーション等で 誘客を強化

【拡】「富山week in London 2023」プロモーション事業（2,500万円）

ロンドンで、富山の「食」や「伝統工芸」をフックにプロモーション
を実施

【新】欧米豪からの観光客誘致体制強化（1,900万円）

欧米豪からの誘客を促進するため、現地でのコンサルティングや、観光
コンテンツの磨き上げを実施



R4.11 研修



R4.11 ジャパン・ハウスでのイベント

北陸新幹線敦賀延伸と北陸DC

令和6年【春】
北陸新幹線敦賀開業

令和6年【秋】
北陸DC（デスティネーションキャンペーン）

大阪⇄富山間
所要時間【約50分短縮】

北陸エリアへの関心・注目度向上

全国からの誘客チャンス拡大

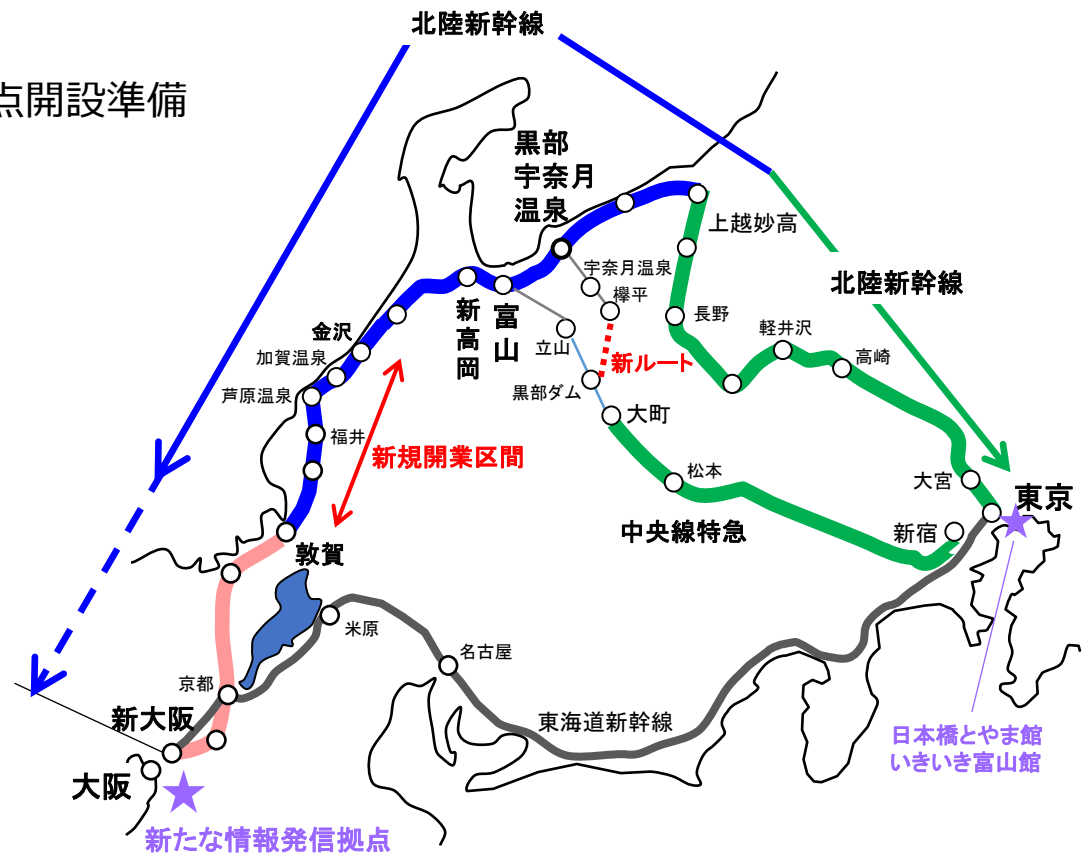
・観光誘客に向けた準備
（観光素材開発・磨き上げ）

・機運醸成、情報発信の強化
（関西圏・首都圏での観光PR）

敦賀開業に向けた取り組み

- <県内> 観光素材開発・磨き上げ
- <関西圏> 機運醸成・情報発信・新情報発信拠点開設準備
- <首都圏等> 誘客促進・情報発信
- <北陸3県連携> 広域観光・誘客促進

R4年度				R5				R6	
4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	6	10~12
5月 「北陸DC」開催決定	8月 DC実行委員会設置							★黒部宇奈月キャンペーンルート 一般開放	★「北陸DC」開催
Japanese Beauty Hokuriku				★北陸プレDC				★北陸新幹線敦賀開業	
「日本の美は北陸にあり。」				全国宣伝販売促進会議エクスカーション【福井】					



黒部宇奈月キャニオンルート

2024年6月 一般開放予定 2024年1月旅行商品販売開始

～1971年の立山黒部アルペンルート全線開業以来、53年ぶりの「新観光ルート形成」～

「死ぬまでに行きたいインフラランキング」★第1位★

(日経トレンディ2023年7月号)



- 【ポイント】
- ・ 黒部峡谷鉄道と立山黒部アルペンルートがつながる
 - ・ 高熱隧道やインクラインなど、電源開発の歴史を体感できる
 - ・ 年間最大1万人限定の希少性

欧州からの誘客 富山week in LONDON 2023

ロンドンで、富山の食や伝統工芸をフックにプロモーションを実施（R5秋予定）

欧州に着目した狙い

インバウンド需要の回復を図るため、早期に出入国が緩和され、**滞在日数や観光消費額が多く、需要回復を牽引する欧米豪市場の開拓に取り組む**

【県成長戦略会議 ブランディング戦略WG提言】

従来型の観光から脱却し、**富山の日常の幸せ**を観光資源としてとらえ、**欧米など新たな市場**に向けたPRや、**観光事業者や他産業とも連携したハイエンド観光の誘客**などにより、富山の魅力を全国全世界へ発信すべき



【R4年度】

欧州の中でも特に旅行エージェントが集積するイギリス・**ロンドン**でプロモーションを実施



【R4結果】 R4.11.1~7 富山week in LONDON
○パンテクニコンでの富山フェアと観光PR
・富山県のPOP UPストア開設
・セミナー型商談会&ネットワーキングレプション
・富山の伝統工芸実演&ワークショップ 等
○ジャパン・ハウスでの観光PR
○ロンドン日本協会での観光PR

- ・職人のデモンストレーションが人気を博し、**富山の伝統工芸への高い関心**が示された。
- ・雪の大谷をはじめ**立山黒部が人気**
- ・イベント後、**欧州メディアの来県が相次ぐ**

観光庁選定 「モデル観光地」の選定

令和5年3月、観光庁が、高付加価値旅行者の誘客に向けて集中的な支援等を行う
モデル観光地11地域を選定

★**富山県を含む北陸エリア**も選定

【今後の取組み】 R5～ 複数年かけて実施
R5は、地域のマスタープラン策定（コアバリューやターゲットの設定・明確化、ヤド整備の事業構想等）等を進める。

07.10（月） とやま観光塾開講式

- ・観光庁の「モデル観光地」担当調整官による**観光ブランディングの講義**
- ・観光塾では高付加価値旅行者に対応するための特別講義も予定

07.11（火）～12（水）

- ・全国の「モデル観光地」を対象とした**ブランディング合宿**が富山で開催

07.11（火）

- ・産学官の連携「**北陸未来共創フォーラム・観光分科会**」キックオフミーティングが富山で開催

地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり
モデル観光地 11地域

